

いのち輝くいつせの里

前山小学校 校長だより

令和5年11月20日

文責 植木政行

『前山小学校の思い出』 丹波市立市島中学校1年 余田里穂

私が前山小学校での学校生活を送っていた中、特に印象に残っていることは、やはり毎日の集団登下校のことです。

私の家は、学校から2、3キロほど離れたところにあり、入学したてのころは、長い距離を歩くことになれておらず、とても疲れたことを覚えています。その上、上級生の歩くスピードが速く、息を切らしながら必死で走って追いついていました。

3・4年生ほどになると、歩くのにも慣れてきました。その頃の登下校の思い出は、「ひつつき虫投げ」です。道の脇に秋になると生えてくるひつつき虫を山のように摘み取り、投げ合って帰っていました。そのひつつき虫は「コセンダングサ」という、ひつつくとなかなか取れないひつつき虫で、つくとも面倒なことになっていました。もちろんのこと、先生方から注意され、「ひつつき虫投げ」は幕を閉じました。

5・6年生になり、地区長となり責任感を持ちはじめました。しかしちゃんと並べるように注意しても、なかなか上手いかわず、最終的にグチャーとなりながらも、わいわい楽しく帰るのが日常となりました。あの頃は大変だと思っていましたが、中学校に通い始めると、「ああ、あの時みたいにみんなで歩きたいな・・・」と思うことがしょっちゅうあります。それほど、私にとって、登下校での出来事は大切な思い出です。

もう一つ、前山小学校での楽しかった思い出と言えば、ぱっと浮かんだのが「餅つき大会」です。2年生の頃、2学期の終わり辺りに地域の方々が臼と杵で餅をついてくれるという本格的なものでした。つきたてのお餅をいただけるので、とても柔らかく、美味しかったです。味は砂糖醤油、大根おろし、きなこがあり、おかわりし放題でした。私は大のお餅好きで、何回もおかわりに行き、みんなが食べ終わり遊んでいる中、一人先生達ともくもくと食べていたのを覚えています。

中学生になってからは、小学校の前を通ると「あの頃に戻りたいな・・・」と思うほど、沢山の楽しかった思い出が蘇ってきます。そんな楽しい思い出を沢山作った前山小学校が閉校してしまうと思うと、寂しく思います。

だけど、新しくできる「竹山小学校」で久しぶりの出会いを通して、小学生の皆さんが沢山の新しい思い出を作ってくれればと想像すると、心が明るくなります。

前山小学校の児童の皆さん、これから新しいことや慣れないことが始まり、不安があると思います。私も中学校でそうでした。ですが、今では知らなかった人とも話せるようになり、楽しく中学校生活を送れています。なので、きっと、楽しい出来事が竹山小に待っていると思います。これから頑張ってください。いつまでも応援しています。



4年生の2月 雪の日の登校



6年生児童会長 運動会での入場行進



1年生「餅つき大会」



6年生丹波市子ども恐竜大使 竜学発表会

『懐かしき日々』 兵庫県立柏原高等学校2年 芦田翔希

前山小学校と竹田小学校が統合となることを聞いた時は驚きと寂しさを感じました。毎日のように友人たちと学校までの道でふざけ合った日々を昨日のように覚えています。

学校へ行けば綺麗な校舎とあたたかい先生方に迎えられ、小学生の私にとっては難しい問題に頭を悩ませ、休み時間にはサッカーやドッジボールをして走り回りました。私は理科がとても好きでその中でも生物に興味がありました。校舎横の川に行く学習が好きでした。また、読書をするのも好きで昼休みが終わる直前まで図書室に入り浸ることもしばしばありました。放課後には友達を連れて側溝を泳ぐ魚を捕まえました。今でも釣りをすることは好きです。

遠足では春には桜が咲き乱れ、秋には美しい紅葉を見せてくれる大杉ダムに行きました。何度か行きましたが、仲間と一緒になら毎度心が踊る時間だったと思います。広い敷地を駆け回り段ボールで坂滑りをよくしました。

そこまで運動が得意でない私でしたが、運動会は好きでした。無我夢中で赤や白の玉を投げ、最後は毎年恒例の丹波音頭を地域の人と踊りました。

前山っ子フェスタでは、記憶が曖昧ですが合唱や合奏を学年ごとにしたかなと思います。6年生の時に演奏したパイレーツオブカリビ안의『私こそが海賊』を演奏したことが一番印象に残っています。私は音楽に興味を持ち、高校で吹奏楽部に所属しているのですが、今思うとこの頃から音楽に関わることが好きだったのかもしれないですね。今では毎日いろいろな曲を練習し、地域のイベントにも出演させていただくまでになりました。

小学校では毎年のように冬は地域の人も混ざってもちつき大会が行われ、家族からは両親と祖父母が参加しました。当時の私には杵がとても重く力いっぱい振り降ろしていました。4年生の頃に苦手だった大根おろし味を食べられるようになり、小学生ながら成長したのかな？と喜びました。

私が在学中に、丹波市豪雨災害で多くの建物に被害が出て、登下校の道中の橋が崩れ、小学校にも泥が入りました。先生方やボランティアの方々のおかげで幸いにも校舎はすぐに使えるようになりましたが、いつもの道が使えないこともあり、バスで通学しました。災害当時の前山地区は大きな被害が目に見えてわかったのでとても不安でした。しかし5年後の春には丹波市復興砂防公園のセレモニーに参加して復興を遂げた前山への思いを朗読しました。私の不安を置き去りにするかのようになり前山は美しくなっていました。地域学習で土砂が流れ込んだ畑に栗の木が植わっていることを学び、決して失っただけではないと、前山の底力のようなものを感じました。

今年で前山小学校は150年。多くの人が青春の1ページを刻んだ校舎が学校ではなくなってしまうことはとても悲しく思います。前山小学校の校舎は比較的新しく綺麗だと思うので地域の人々が利用できる施設としてこれからも美しくあり続けることを期待します。



3年生春の遠足（スポーツピアいちじま）



2年生「前山っ子フェスタ」



5年生「もちつき大会」



6年生最後のお楽しみ会「おはぎ作り」